

# 愛知県感染症情報

## 平成 11 年第 28 週（7 月第 2 週）

### （コメント）

先週に引き続き手足口病とヘルパンギーナの報告数が多くなっています。

手足口病の報告数は、定点あたり 5.3 人（593 人/112 定点）でした。

ヘルパンギーナの報告数は、定点あたり 8.1 人（903 人/112 定点）でした。

### （先生方からのコメント）

- ・ 1 才男病原性大腸菌 VT1、VT2（-）。  
（岡崎市 医療法人深田小児科）
- ・ 7 才女病原性大腸菌 O6（+）+ VT1、VT2（-）、カンピロバクター  
6 才男 2 名 黄色ブドウ球菌 MRSA（-）  
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ 3 才サルモネラ O9  
10 才カンピロバクター  
（幸田町 とみた小児科）
- ・ SSSS 5 才男子 1 名入院。  
アデノウイルス抗原陽性者。男子 7 才 3 名、1 才 2 名、2 才 2 名  
女子 4 才 1 名、3 才 1 名 計 9 名  
クラミジア・ニューモニエ肺炎 27 才女子 1 名  
病原性大腸菌検出 男子 3 才 O18、3 才 O1、2 才 O6、4 ヶ月 O1 計 4 名  
（尾西市 城後小児科）
- ・ ヘルパンギーナ、手足口病流行中。  
突発疹散発。  
咳嗽を伴い、高熱が持続する症例が幼児で目立ちます（入院例あり）。  
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）
- ・ 咽頭結膜熱 3 例（3 才男、3 才女、4 才女）はすべてアデノウイルス抗原  
検出陽性でした。  
ヘルパンギーナが多く見られます。  
（瀬戸市 津田こどもクリニック）

- ・ ヘルパンギーナは、流行がおさまりましたが、今週は高熱の続く化膿性扁桃炎が 5 例ありました。溶連菌は（ - ）でした。  
（春日井市 かちがわ北病院）
- ・ あいかわらずヘルパンギーナめだちます。  
（春日井市 朝宮こどもクリニック）
- ・ 発熱後に蕁麻疹様の発疹が出現する症例が目立ちます。  
（立田村 谷本医院）
- ・ 手足口病、ヘルパンギーナがひき続き目立ちます。  
（碧南市 永井小児クリニック）
- ・ 手足口病が増えてきました。今回は口腔内所見が強く、食べられない例が多くみられます。  
（西尾市 やすい小児科）
- ・ 頭痛、発熱、嘔吐のひどい人が時々みえます。髄膜炎でも流行しているのでしょうか。  
（西尾市 こどもクリニック宮地医院）
- ・ ヘルパンギーナ多発 1～2 日の発熱。  
手足口病。  
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
- ・ 手足口病がみられるようになりました。水痘、ヘルパンギーナが流行しています。1 才女児... ヘルペス口内炎。  
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- ・ 10 才男流行性耳下腺炎 MMR 平成 2 年 9 月済み。  
（東海市 小児科ハヤカワ医院）
- ・ 先週ピークかと思われた手足口病が今週も目立った。  
水痘は、減少。  
（田原町 かわせ小児科）
- ・ ヘルパンギ - ナが大流行で、高熱のため熱性けいれんを起こす児がいます。  
サルモネラ（グループ O9）女児 1 名いました。  
（豊橋市 こどもの国大谷小児科）
- ・ 手足口病、口内症状が強い。  
（豊橋市 豊橋市民病院）
- ・ ヘルペス口内炎（1 才女）。  
（豊橋市 野村小児科）

- ・ カンピロバクター腸炎（３才、女）。  
病原性大腸菌 O153（11 か月、女）  
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- ・ 感染性胃腸炎、３人姉妹、カンピロ（＋）。  
（豊田市 やふそ小児科）

（１～３類感染症の発生状況）

腸管出血性大腸菌感染症病原体保有者１名。  
半田保健所管内在住の 62 才男性。7/18 初診、7/18 診定。  
菌型は、O157、VT2(+)。

（全数把握の４類感染症の発生状況）

急性ウイルス性肝炎患者１名。